

コロナウイルス文献情報とコメント(拡散自由)

2021年5月29日

1. 新型コロナ感染リスクは、紙巻きタバコ喫煙で79%増加
2. 新型コロナ感染リスクは電子タバコで5倍、電子タバコ+紙巻きタバコで7倍: 米国若者
3. 喫煙によるがん発生率と死亡率: 人口ベース・オーストラリア・コホート調査

【松崎雑感】

31日が世界禁煙デーなので、タバコネタを送ります。新型コロナ感染者の喫煙率が非常に少ないというデータがたくさんありますが、これらは断面調査のため、喫煙習慣の誤分類、患者選択バイアスが大きく影響してそのような結果になっていると考えます。一般人口ベース集団の追跡調査では、喫煙者が新型コロナに明らかに感染しやすく、重症化も有意に多いことが分かっています。もうひとつ、喫煙本数が1日5本以下でも、生涯非喫煙者よりも肺がんに9倍かかりやすいことが、オーストラリアのコホート調査で証明されました。タバコとコロナのダブルパンデミックを禁煙で切り抜きましょう！

松崎道幸 道北勤医協旭川北医院 matsuzak@maple.ocn.ne.jp

新型コロナ感染リスクは、紙巻きタバコ喫煙で79%増加

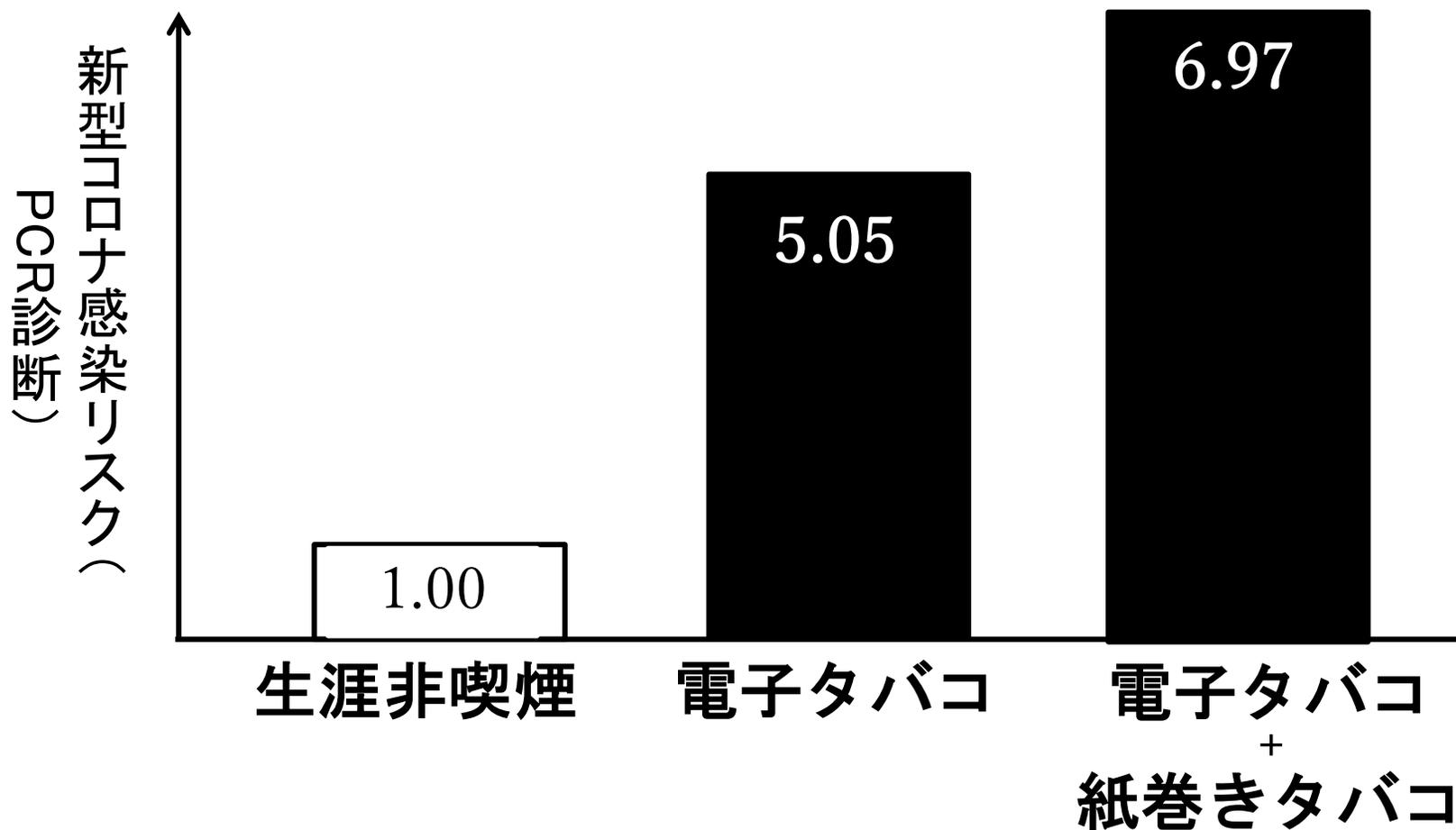
イギリスにおける一般人口をベースとした大規模調査結果では、喫煙が新型コロナ感染を防ぐという仮説を否定する結果が得られた。現在喫煙は、交絡因子の調整後自己申告による新型コロナ感染率を独立に有意に高めていた。



生涯非喫煙者 現在喫煙者
喫煙習慣別有無別新型コロナ感染リスク
(イギリス成人5万人調査)

Jackson SE (Department of Behavioural Science and Health, University College London) ,et al. COVID-19, smoking and inequalities: a study of 53 002 adults in the UK. Tob Control. 2020 Aug 21:tobaccocontrol-2020-055933.

新型コロナ感染リスクは 電子タバコで5倍、電子タバコ+紙巻きタバコで7倍： 米国若者



2020年5月に13~24才の若者4351名(一般人口を代表するサンプルとして構成)を対象とした全国的オンライン調査

Gaiha SM, et al. Association Between Youth Smoking, Electronic Cigarette Use, and COVID-19. J Adolesc Health. 2020 Oct;67(4):519-523.

喫煙によるがん発生率と死亡率： 人口ベース・オーストラリアコホート調査

Weber MF (Daffodil Centre, The University of Sydney, A Joint Venture With Cancer Council NSW.), et al. **Cancer incidence and cancer death in relation to tobacco smoking in a population-based Australian cohort study.** *Int J Cancer*. 2021 May 20. doi: 10.1002/ijc.33685. Epub ahead of print. PMID: 34015143.

オーストラリア、ニュー・サウス・ウェールズ州の人口ベースコホート45 and Up Study (2006-2009)を用いて、喫煙とがんの関係を定量的に評価した。

追跡開始時(2006~2009年)の自己申告喫煙習慣に基づきコックス比例ハザード解析を用いて、発生した原発がんと2013年および2015年のがん登録データとのリンケージにより、喫煙習慣と発がんの関係を評価した。

45才以上の22万9028人から1万8475人のがん発症者、5,382人のがん死亡者が発生した。

喫煙者は生涯非喫煙者よりもがんリスクが有意に高かった。

喫煙による主ながんのリスク増加度：

全がん (HR=1.42, 95%信頼区間1.34-1.51),

肺がん (HR=17.66, 14.65-21.29)

喉頭がん (HR=11.29, 5.49-23.20)

頭頸部がん (HR=2.53, 1.87-3.41)

食道がん (HR=3.84, 2.33-6.35)

肝臓がん (HR=4.07, 2.55-6.51)

膀胱がん (HR=3.08, 2.00-4.73)

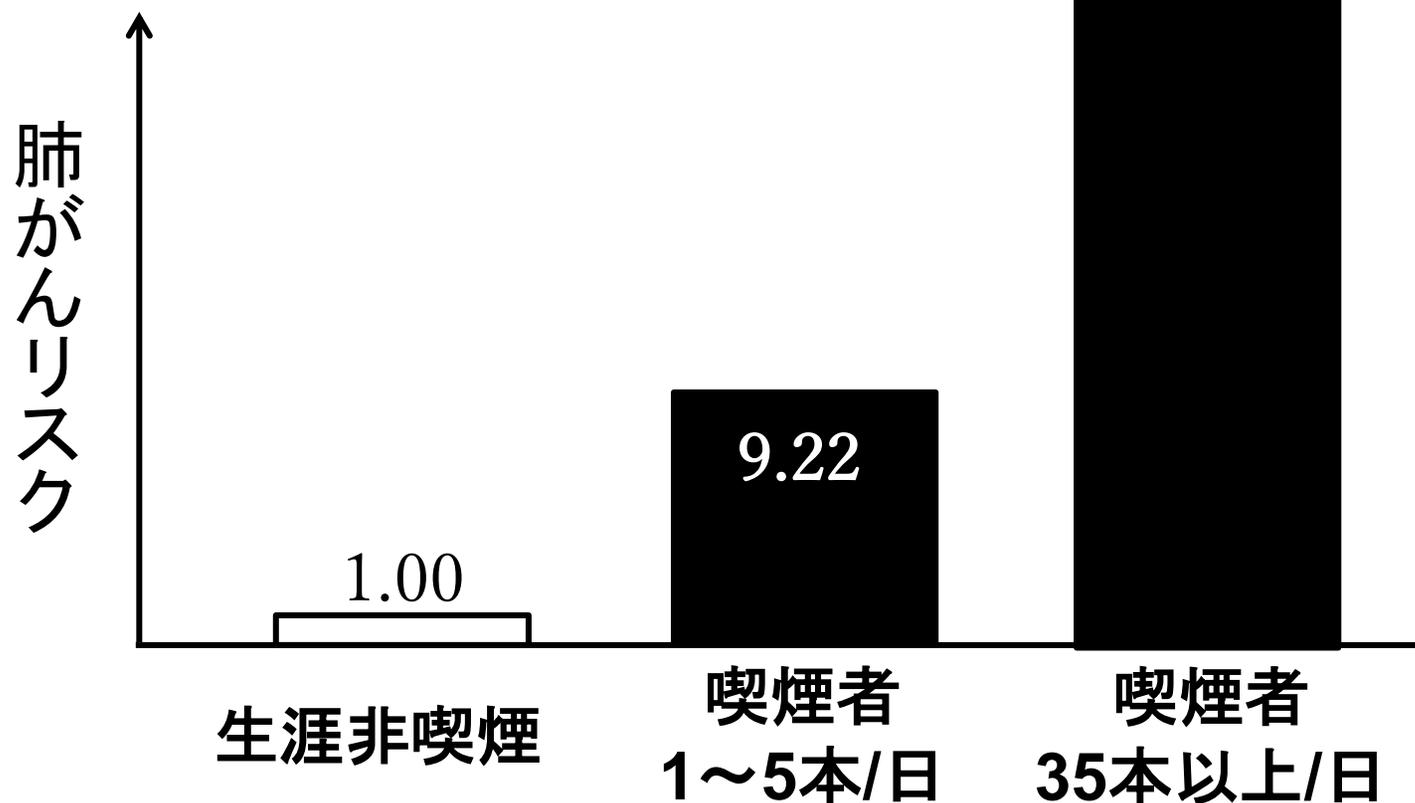
すい臓がん (HR=2.68, 1.93-3.71)

大腸直腸がん (HR=1.31, 1.09-1.57)

原発不明がん (HR=3.26, 2.19-4.84)

喫煙量が増えるにつれて肺がんリスクが増加していた。

生涯非喫煙者と比べた肺がんリスクは、1日あたり喫煙本数が1～5本の喫煙者で9.22倍（95%信頼区間5.14-16.55）、35本以上の喫煙者で38.61倍(25.65-58.13)だった。



どの年齢で禁煙しても肺がんリスクはそれなりに減少してゆくが、25年以上禁煙しても、肺がんリスクは生涯非喫煙者よりも大きかった。

80歳までに、喫煙者の48.3%は何らかのがんを発症し(生涯非喫煙者は41.1%)、1～5本/日喫煙者の7.7%、35本/日喫煙者の26.4%は肺がん罹患する。

なお生涯非喫煙者の肺がん罹患率は1%である。オーストラリアの喫煙者のがんリスクは、「ライトスモーカー」であっても極めて高い。

この最新の調査結果は、喫煙開始防止と禁煙推進に引き続き多くの資源を投入する必要があることを示した。

世界全体にとっても、子どもの喫煙開始防止と大人の禁煙推進はがん予防のカギである。